

原発がこわい女たちの会
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2013年02月 | [トップ](#) | 2013年04月 》

検索

2013年03月27日(水)

大飯原発☆司法の判断は？！

アーカイブ

3月19日、原子力規制委員会は、「原子炉等規制法」の新安全基準が7月に施行されても大飯は特別扱いで運転継続できるという見解を示しました。そもそも、

- ・新法では、電力会社が設置変更申請などを出し直し審議される
- ・防潮堤も再稼働の前提である(大飯の場合、完成は来年3月)
- ・破碎帯調査中の原発は、その結論が出るまで再稼働の申請はできない
- ・ストレステストは、再稼働の判断基準にしないと明言している

のはずでした。しかし、大飯の場合、これら全てを適用除外にして、9月までの運転を認めようとしているのです。

わたしたちは、前回ブログにあったとおり、和歌山県に対して大飯原発停止の申し入れを要望しています。

また、大飯3、4号の運転停止を求めた仮処分裁判がすすんでいます(7月16日ブログなど見てください)。昨年3月に福井、関西、岐阜から262名が、関西電力を相手取り大阪地方裁判所に提訴したもので、審尋(法廷)は関西電力の引き延ばしで8回を重ね、ようやく今年1月29日に結審しました。3月末か4月初めに判決が出ます。判決が出る前に示されたこの原子力規制委員会の見解は、何を語るのでしょうか。

大飯原発の再稼働は「4閣僚の政治判断」野田総理の「私の責任」で強行されたものです。
大飯原発の運転停止を！

(松浦雅代)

「原発がこわい女たちの会結成26年のつどい」再度のお知らせです

日 時・3月30日(土)13:00~16:00
13:00より「東京原発」DVD上映会
15:00より交流会
会 場・和歌山市勤労者総合センター6階ホール
(市役所西隣) ☎073/433-1800
参加費・500円

「東京原発」は、10年以上の前の映画ですが和歌山では初めての上映です。映画上映後、交流会をします。福島事故から2年。希望者の方に、がれき問題、日高の原発撤回など、5分間位ずつ発言をお願いしています。ともに映画を観て、ともに語り合いませんか。

[2013-03-27 | 記事へ | コメント\(0\)](#)

2013年03月26日(火)

原子力災害について和歌山県と話し合いました

前回(3月15日)のブログで呼びかけましたが、防災計画(原子力災害)と大飯原発停止に関して、2月27日付で知事あてに提出した要望書に対する県の回答とその質疑が行われました。その概要を報告します。話し合いは、3月18日、県庁にて、約1時間半にわたりました。出席者は、県総務部危機管理局危機管理課 西山甚一課長 ほか2名、

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

「脱原発わかやま」からは冷水喜久夫代表 ほか6名(白浜町・田辺市・日高町各1人、和歌山市4人の住民)です。

要望書に対する県の回答(西山課長 口頭にて)

和歌山県の原子力に関する災害対策計画は関西広域連合(以下「広域連合」)の現在改定中の方針(関西防災・減災プラン・原子力災害対策編)と、その基になっている国の原子力災害対策指針との整合性をはかりながら進めていく。

要望書にある県民の被ばく量については、昨年10月に国のほうからシミュレーションが出されている。しかし、それは半径30キロの範囲に抑えた形になっていて、30キロの外は示されていない。現時点では、和歌山県にどれくらいの被ばく量、あるいはその影響があるのかわからない。したがってそれに伴う避難計画は見えない状況なので、どんな対策を立てていいのか難しい。国と広域連合の今後の対策を見ているところだ。

次に2番目の、住民の受け入れ計画についてだが、これも広域連合で策定中で、具体的には福井県や京都府からどれだけの人が、どこへ避難したいと希望しているのか。そのうえで避難先とのマッチングが必要となる。しかし、広域連合はまだそれをつかんでいないのではないか。広域連合の策定結果によって、和歌山県として今後、計画を詰めていかなければならない。



質疑・要望

(Q:脱原発わかやま A:危機管理課)

Q 広域連合の改定内容はいつ頃公表されるのか？

A 現在改定が進められていると思うが、まだ詰めていかなければならない。30キロの外側について国から示されないと、広域連合で先行してやるのは難しい。4月以降、各土地県や市がどのような広域避難計画や希望をもっていいのか意見を聞いて判断していくことになるだろう。

Q 事故後、どこに逃げるか、高汚染地域は避けなければ。県民や、和歌山に避難してきた人を守るために県として対策を立てることが必要ではないか。

A 和歌山県が30キロの外だから大丈夫だとは決して思っていない。何らかの対策をとっていく必要がある。

Q 広域連合や国の方針を待つだけでなく、県としての対策を立てて、県民に説明してほしい。例えば、ヨウ素剤はどう考えているのか。

A 具体的には、ヨウ素剤の事前配布とか、飲むタイミングとかについては、ある程度、国の指針に合わせていく必要がある。現在は、モニタリングが県内に4箇所(和歌山市、田辺市、新宮市、橋本市)設置されており、通常、この測定の中で対応していくことになる。

Q 福島事故の教訓を生かしてほしい。モニタリングの数が少ない。また初期の伝達は、どのような経路になるのか。

A 福井県と関電から、周辺自治体、広域連合へ、さらに和歌山県にくるようにになっている。

Q 1700万人が琵琶湖・淀川水系を飲料水にしている。もしこれが飲めなくなったとき和歌山県でどれくらいの人を受け入れられるのか具体的に検討すべきでは。現在の水の利用量はどれだけ、どれだけ増やせるのか。紀ノ川や津川や熊野川などの各水系ごとに把握できるはずだ。ペットボトルの配布だけでは到底足りない。

A そのデータは、今もっていないが、その意見を参考にしていきたい。

Q 和歌山県にも避難してくると思うが、そのときの避難場所は計画されているのか。国、広域連合の指示待ちということではなく、先行的な対策が必要になるのでは。

A 国の指示がないかぎり動かないわけではない。指示の必要な部分とそうでない部分とがある。避難してくる人に対してはできる限りの対応をすべきであるが、すべて国や広域連合に先行してできるかとなると、そうはいかない面がある。

Q 30キロ圏内で17万人の避難が想定されているが、いざというときのため例えば体育館とか、白浜や勝浦などの宿泊施設とか県内のキャンピングを調べておく必要があるのでは。

Q 福井や浜岡で事故が起きると、放射能が和歌山県にどのように流れてくるのかは、風向きによってある程度はわかるはずだ。中国の黄砂だって飛んでくるし、放射能も同じで、風向によって和歌山にも流れてくる。

A 気象条件はわかるのだが、それをシミュレーションするものがない。

Q ヨウ素剤の備蓄はどうか。早急に備蓄の準備をし、配布方法を検討してほしい。

A 現在、県にも各市町村にも置いていない。配布方法も決めていない。

Q 和歌山県は知事が「大飯原発を動かしてくれ」と言ったんだから、非常時には県民、特に子供たちを守る手立てを講ずるべきだ。

Q 私たちは30年前から、原発事故は起きると言ってきた。福島でそのことが現実になった。想像力を働かさないと、また同じことを繰り返すことになる。福島の教訓を生かして、安心して暮らせる和歌山にしてほしい。

Q 要望書の2項目の「大飯原発停止」について。従来の原子炉の安全基準は福島事故で危険だとなっ

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

[日韓の原発事情、国 by 民 守 正義(08/21)

そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)

コメントありがとう by sora (12/05)

突然すみません。東京 by 里美(11/22)

10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)

starさんコメントあり by sora (09/14)

このブログを読むまで by star(09/13)

こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)

現在稼働している大飯 by star(04/09)

廃炉産業を起こしてほ by kaziwarayosiyuki(03/14)

カレンダー

<		2013年03月							>	
日	月	火	水	木	金	土	1	2		
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
	17	18	19	20	21	22	23			
	24	25	26	27	28	29	30			
	31									

最新記事

琵琶湖が危ない 老朽原発

美浜3号も廃炉に！ 11・13

琵琶湖集会(11/15)

汐見文隆先生、ありがとうございます

ございました(11/08)

原発がこわい女たちの会

ニュース99号発行(10/12)

高速増殖炉もんじゅ廃炉へ

(09/27)

老朽原発・美浜3号機は廃炉

に！パブコメを出そう(08/28)

ピースボートで韓国古里(コ

リ)原発を見学してきました

(08/21)

熊本地震の経験から原発の

耐震性見直しを要求し、25

団体で共同声明を出しまし

た(07/22)

老朽原発・関西広域連合へ

要望書と和歌山県との話し

合い(07/17)

原発のない社会を投票で示

そう！(07/05)

で新しい基準を策定中(7月作成予定)である。大飯3、4号は、法的には根拠のない基準で運転している訳で、許されないこと。それまでは停止すべきである。このことを知事に伝えてほしい。

A 止めることは高度な判断になってくる。

Q 今後も、私たち市民との意見交換の場をもって頂けないか。

A 今後の意見交換については、機会があればできる限りさせていただきます。県としては、やれるところからやる。「満額回答」とはならないが・・・

Q 現在の県の防災計画では、「放射性物質」については触れているが「原子力発電」についてはまったく触れない。今後、原子力発電所事故に伴う対策を災害対策計画に反映させていくことになるのか。

A 今後の改定のなかで、反映させていきたいと個人的には考えている。

(文責 寺井拓也)

2013-03-26 | [記事へ](#) | [コメント\(1\)](#) |

2013年03月15日(金)

「脱原発わかやま」より

たいへん遅くなってしまいましたが、ネットワーク「脱原発わかやま」からのお知らせを掲載します。

■「脱原発わかやま」では、和歌山県知事宛に要望書を2月27日に提出しています。文末に載せています。

■下記日程で県の危機管理課との話し合いがあります。
会員でなくても参加出来ますので、興味のある方は参加して下さい。

☆3月18日(月)14:00～

☆場所は県庁南別館3階危機管理課

参加される方は10分前には3階にお集まり下さい

(県庁本館ではありません。南別館; 県文の東隣です。駐車場がありませんので本館の駐車場に止めて南別館まで少し歩いて頂くか、有料駐車場を利用して下さい)

(松浦雅代)

2013年2月 27 日

和歌山県知事 仁坂吉伸 殿

脱原発わかやま 代表 冷水喜久夫
事務局・和歌山市西庄1024-15 松浦雅代 方
☎・FAX・073-451-5960

防災計画(原子力災害)と大飯原発停止に関する 要望書

1、地域防災計画(原子力災害)について

現在、国においては、原子力災害対策指針の策定が進められています。
また、関西広域連合においては、昨年3月に策定された「関西防災・減災害プラン(原子力災害対策編)」の改定作業が現在行われています。

和歌山県の地域防災計画(原子力災害の策定において、県民の安全を確保し、不安を除去するため、次の事項を明らかにするよう要望いたします。

(1) 県民の被ばく量と避難計画を明らかにしてください

万一、福井県の原発で重大事故が発生した場合、原発から最短地点でおよそ130kmしか離れていない和歌山県にも少なからぬ被害が及ぶであろうことは、チェルノブイリ原発事故や福島第一原発事故から明らかです。和歌山県においてはどのような被ばく量が予想されるのか、また、避難計画について明らかにして下さい。

(2) 他府県の避難住民の受け入れ計画について明らかにして下さい。

万一、福井県の原発で事故が発生した場合、放射能被ばくおよび、琵琶湖汚染等による避難住民が大量に発生するものと考えられます。上記「関西防災・減災害プラン(原子力災害対策編)」によれば、琵琶湖・淀川推計の上水道給水人口は1700万人となっていて、もし、放射能汚染によって、この給水が不可能となった場合には、膨大な数の住民が避難をよぎなくされます。

こうした他府県の避難住民の、和歌山県への受け入れ計画について明らかにして下さい。

2、大飯原発3号、4号の停止申し入れについて

大飯原発の敷地内には活断層が走っているとの専門家の指摘があり、現在、原子力規制委員会で調査中です。もし、原発の重要施設の真下に活断層があると判断された場合には、稼働できないことになっています。その判定が出るまで、運転を止めるべきです。

また、国は現在、新しい原子炉に係る安全基準を策定中です。これは、福島第一原発事故を反省して、危険な古い基準を安全な新しい基準へと切り替える作業です。新しい基準は今年7月に作成し、これを基準にして個別の原発の安全性を審査し、その結果、安全と判断された原発を再稼働させていく、と国は説明しています。

ところが、現在稼働中の大飯原発3号、4号は、危険な古い基準に基づいて運転しています。安全な新しい基準によって審査されなければならないことは明々白々です。現時点での大飯原発3号、4号の稼働は、福島第一原発事故のような事故を二度と起こさないという教訓を踏みにじる行為であり、許されるものではありません。

原発がこわい女たちの会
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

[トップ](#)

[RSS](#)

ID:

PASS:

[サイト管理者](#) ▼

[ログイン](#)

SSLモードでログイン

BLOGGariは2017年1月末
サービス終了します

安全が担保されていない大飯原発3, 4号の運転を直ちに中止するよう、関西広域連合および関西電力に申し立て下さい。

以上

2013-03-15 | 記事へ | コメント(0)

2013年03月14日(木)

小出裕章さんと和歌山で講演

これまで、「原発がこわい女たちの会」の勉強会や講演会など京大原子炉実験所(所在地、熊取は和歌山市と近い!)の先生方には本当にお世話になってきた。小出さんもその一人で、何度もいらして教えていただいたが、このところすっかり「反原発の☆」になられたせいでお忙しく、久しぶりの来和であった。

講演会は、「和歌山県保険医協会」と「子どもたちの未来と被ばくを考える会」の共催で3月10日14時から行われた。近くの和歌山城西の丸広場では「福島を忘れない! 原発ゼロ 和歌山3・10フェスティバル」がほぼ同時並行。小出さんの講演会は200席が立ち見席も出そうな盛況だった。こんなに大勢の人が原発に関心を寄せているのだと、心強いかぎりである。

まず、「使用済みの核燃料中間貯蔵施設に反対する医師の会」の龍神弘幸さんに続いて「女たちの会」代表の松浦雅代が和歌山の反原発運動の闘いについて簡単に報告した。原発候補地の長い闘いを知り、チェルノブイリ以後はなんとしても和歌山に原発を立てさせたくない、現地の女たちに呼応して和歌山市でも当会を立ちあげたこと、とくに一世代うえの彼女たちには戦争体験を通してお上のウソを見抜く意味など闘い方の多くを教わってきたこと、などを訴えた。

さて、小出さんの講演である。ひとことで言えば、徹頭徹尾、明快に原発の矛盾を衝くものであった。原発稼働により1基あたり年間で広島原爆の1200倍の死の灰をため込み、福島原発事故では大気中だけで広島原爆168発分のセシウムをばらまいた。3.11に運転中だった1~3号機は炉心がメルトダウンし今その所在すら分からない。停止中だった4号機は使用済み核燃料プールを一部補強したが、崩壊する危険は常にある。汚染水は海に漏れている。冷却汚染水タンクは敷地内にあふれかえり、そのうち海に放出されるかも。すでに大量の放射性物質が放出され今後も続く、果てしないその封じ込め作業に従事する労働者の被ばく。そして住民は今も、放射線管理区域以上の被ばくにさらされる。こんな危機が現在進行中なのに、事故は収束だと? 過去のこととして復興優先だと?

小出さんは、形相は穏やかだが心中は憤怒に満ちているようだった。犯罪に値する政府、東電、原発推進派の無責任さと国民を欺いたことへの怒り、そして騙されたとしても未来の子どもたちから問われる私たち大人の罪、しかし原子力の研究者でありながらこの事態を許してしまった自らへの慙愧の念、それらが交ぜとなって小出さんをつき動かしているのだろうか。原発を止めるためなら、なんだってやります、とも。

お話は、基本的なこと全般にわたり、丁寧で分かりやすかった。いわゆる電力不足神話には、今の日本の浪費的な暮らし方を見直してみればよいのだと説得力がある。所定の質疑応答を終えた後も1時間オーバーして質問を受けていただいた。火力発電によるCO2地球温暖化説はまやかしである、など。また40数年間「反原発」を貫くことについて、周りから迫害など一切なかったと断言された。正しいと信じる道をまっすぐに歩まれてきたことがビンビン伝わってきた。

最後に目撃したこと。会場となったホールは6階にあるのだが、小出さんはエレベーターを使わず階段で往復された。ウエ~、そこまでやりますか、やっぱり…。



** わんこさん、先ごろにはブログへのコメントありがとうございました。講演会場にいらしたことでしょね。感想をまたお寄せください。

(sora)

2013-03-14 | [記事へ](#) | [コメント\(2\)](#)

2013年03月10日(日)

「結成26年のつどい」のお知らせ

福島原発事故から2年経ちましたが、いまだに事故は収束していません。また多くの被災者の方々が苦難を強いられています。わたしたちも、現実に見開き、どうすれば原発なしで暮らせるのか考え続けていきます。原発がこわい女たちの会では、つぎのとおり「結成26年のつどい」を計画しています。どなたでもご参加いただけます。

☆日 時・3月30日(土)13:00~16:00
13:00より「東京原発」DVD上映会
15:00より交流会

☆会 場・和歌山市勤労者総合センター6階ホール
(市役所西隣) ☎073/433-1800

☆参加費・500円

映画『東京原発』
製作: 2002年 / 監督・脚本: 山川 元
出演: 役所広司 / 段田安則 / 平田満 / 吉田日出子 / 岸部一徳 / 他

山川監督は、広瀬隆さんの『東京に原発を!』にヒントを得て脚本をかいたとのこと。
10年以上前の作品ですが、痛快な娯楽映画にして痛烈に原発と日本社会を批判しています。



「東京原発」フィルムパートナーズ

連絡先 ☎073/451-5960(松浦)

2013-03-10 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

2013年03月03日(日)

和歌山県議会傍聴のお願い

このブログでもこれまで風力発電の問題性には触れてきました。「風力発電の被害を考える会・わかやま」からの県議会傍聴のお知らせがありましたので以下転載します。

3月7日[木]
11時～12時 藤本真利子議員
13時～14時 雑賀光夫 議員

緊急なお願いで誠に恐縮です。

私は「風力発電の被害を考える会・わかやま」世話人代表の松浦攸吉です。昨年11月18日、和歌山市で「風力発電の被害を聞く会」を開催しました。その席で由良町や下津町の風力発電の近隣で住まわれている方たちの被害の実態を伺い、会に参加されていたたちと「風力発電の被害を考える会・わかやま」を立ち上げました。

現在、由良町や海南市下津町では風力発電の被害が全く認められていません。そのうえ、由良町では風車の近くの小学校の跡地に保育所を建てる計画も有ります。子どもたちの将来を考えるとこのまま放っておれません。

今議会で2人の議員が風力発電の被害について質問してくれます。議会の傍聴に参加して、風力発電の被害の実態を知っていただき、被害を受けておられる方たちの痛みが少しでも和らぐよう、ご協力お願いいたします。

あなたの一歩一歩が子どもたちが安心して暮らせる世の中に創り変えていくことができます。

2013-03-03 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

RSS 2.0